

## 万博記念公園自然学習館と家族向けイベント 「木がくれたごほうび」を開催!!

令和4年8月7日（日）、万博記念公園 自然観察学習館（大阪府吹田市）と共催で、「山の日」イベントとして「木がくれたごほうび」を開催しました。イベントには15家族36名の皆さんが参加し、万博記念公園内の森林にふれあって楽しんでいただきました。

はじめに、自然観察学習館のボランティアの方々による木の実や葉を使った「植物おもしろ・不思議大実験」に続き、学習館周辺の森林散策が行われ、所々で樹木の説明があり、参加者からは、驚きや興味の声が聞かれました。

ひと汗かいて学習館に帰ってきた参加者には、当センターの創作紙芝居『雨水のぼうけん』を上演し、「森林の働き」について学習しました。

子どもたちからも、「面白かった。」「雨水が森を通って飲み水になるまでの流れが分かった。」などの感想が寄せられました。そのあと、もっと森林にふれあってもらうべく、先ほど散策した公園内の葉っぱを自由に選んでラミネートし、葉など、思い思いの作品作りをしました。参加者は、「木がくれたごほうび」に満足そうにしていました。また、希望者には、ヒノキの丸太切りを体験し、最後にもう一汗かいていました。



『植物おもしろ・不思議大実験』の様子



森林散策の様子



創作紙芝居の上演



葉っぱの  
しおりづくり

# 箕面市立萱野小学校で

## 森林教室を

## 行いました！！



葉っぱをラミネートした葉



葉にする葉っぱを探す子どもたち

9月1日と7日の両日に、箕面市立萱野小学校の4年生（3クラス、104名）を対象に、学校にある身近な植物をきっかけに箕面の山を知ってもらう森林教室を行いました。

具体的には、山の働きを楽しく学ぶことが出来る創作紙芝居『雨水のぼうけん』の上演や、学校の中庭にある樹木とのふれあい体験を行いました。子どもたちにはこの体験を通して、普段は気にとめていなかった校内の樹木や葉っぱを、身近に感じてもらうことが出来ました。

また、今回の森林教室では、集めた葉っぱでのしおり葉づくりと丸太切り体験を通して、五感をフルに使った体験も行いました。葉づくりでは、事前に通学路などで子どもたちが集めてきてくれた葉っぱをラミネートして、各家庭に持って帰ってもらいました。丸太切り体験では、箕面国有林で間伐された木を、子どもたちにのこぎりを使って（初体験の子どもも多かったですが）切ってもらいました。

子どもたちからは「丸太を切るのは大変だったけど、楽しかった。」「丸太にある線で木の年齢が分かるなんて知らなかったの、勉強になった。」という声が上がりました。



学校にある木（ユリノキ）



丸太切り体験

※間伐：森林の混み具合に応じて、一部を伐採し、残った樹木の成長を促す森林を育成するための作業

# 紅葉の箕面滝道で

## 『山とみどりのフェスティバル』に

### 参加しました！！



北摂の山々が色づき始めた11月3日、明治の森箕面公園の瀧安寺（りゅうあんじ）前広場において、「山とみどりのフェスティバル（主催：箕面市、NPO法人みのお森林山麓保全委員会）」が開催され、当センターは、箕面の森林を感じていただく企画として、「葉っぱの葉づくり体験」及び「松ぼっくりのミニツリーづくり体験」を出展しました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、過去2年中止となった当イベントも、今年は好天に恵まれ、また、箕面大滝に向かう「滝道」に近いこともあり、家族連れや訪日の外国の方など、多くの方が立ち寄られ、赤く染まったカエデの葉など、好みの葉で葉づくりを楽しんだり、松ぼっくりに思い思いの装飾をしたミニツリーを作成するなど、森の恵みの工作を楽しんでいました。

また、会場に設置された「ふれあいステージ」では、当センター職員が創作紙芝居「雨水のぼうけん」を上演し、主人公のユウちゃんが雨水になって冒険しながら森に生まれていくストーリーを通じて、森の大切さを説明しました。小さな子どもをはじめ、鑑賞いただいた皆さんは、興味深そうに見入っていました。



当センターの体験コーナー



創作紙芝居『雨水のぼうけん』の上演



当センターの体験コーナー

## 牧落幼稚園の 子どもたちに 『葉っぱのしおり』を 作って もらいました！



葉っぱの葉づくり



創作紙芝居『雨水のぼうけん』の上演

箕面森林ふれあい推進センターでは、11月25日（金）吹田市の万博記念公園にて、「自然観察学習館」の方々と一緒に、牧落幼稚園（箕面市）の子どもたち（42名）に「自然を感じてもらおうプログラム」を行いました。

午前中は「自然観察学習」のボランティア（ソラードの会）の方々が、秋の木の実などを使ったクラフト体験を行いました。子どもたちはお気に入りの木の実を組み合わせ、オリジナル作品を作り上げていました。最後に完成したお友達の作品を見て回り、楽しそうに感想を言い合っていました。午後は、当センターの出番です。創作紙芝居「雨水のぼうけん」の上演と公園内の葉っぱを使った葉づくりを行いました。紙芝居では、子どもたちから「なんで森を通ると水がきれいになるの？」という質問や、「森を通ると水が美味しくなるということがわかった。」という感想がありました。「葉っぱの葉づくり」では、赤や黄色に色づいた葉っぱの中から、自分好みのものを選び、好きな形に切るなど、熱心に思い思いの作品を作り取り組んでももらいました。子どもたちからの「これはお母さんへのプレゼント」「帰って絵本に挟むんだ」「葉っぱがこんなにキレイになるなんてびっくり」との言葉と一緒に、葉を持ち帰ってもらいました。当センターでは今後とも、子どもたちが楽しみながら自然と触れ合えるようなプログラム作りに努めてまいります。

## 編集後記

## インターンシップ生を受け入れました！！

箕面森林ふれあい推進センターでは、9月12日（月）から9月16日（金）にかけて、大学生2名（3回生）を、インターンシップ生として受け入れました。今回は、当センター内のデスクワークのほかに、「体験学習の森」の整備やニホンジカ捕獲事業の現場を経験していただきました。初日は緊張した様子だった学生も、「体験学習の森」では、特定外来種の「ウシガエル」の駆除や、新たな学習ルートの整備、さらには、シカ捕獲事業では、偶然にも「くくり罠」で捕獲されたニホンジカの個体処理に立ち会うなど、いろんな仕事を体験し、1週間のインターンシップが終わるころには少しずつ笑顔も見え出て、職場の雰囲気にも慣れてきた様子でした。

我々も、研修生の若さと元気な姿を見てパワーをいただき、初心にもどってより多くの皆様に、森林・林業の大切さを普及する取組を進めて参ります。



シカ捕獲体験



収穫調査（測量）